



教育目標 やさしく かしく たくましく 未来を拓く 稲田の子

【めざす子ども像】

- 思いやりがあり、きまりを守る子ども
- 夢や目標をもって、自ら学び続ける子ども
- 心と体がたくましく、最後までがんばる子ども
- ふるさとを愛し、社会や未来を拓く子ども



学園マスコット
“いなっ子”

MY弁当の日 美味しいお弁当で親子の絆も深まりました

11月22日(金)は「MY弁当の日」でした。お弁当作りを通して食生活や健康に対する関心を高め、献立作成や調理を通して、家族と触れ合う機会を増やすとともに、日ごろお弁当を作っている家族への感謝の気持ちを持つことを目的としています。

小学生は お弁当作りにかかわる「ドキドキコース」、自分でおにぎりをつくる「わくわくコース」、自分でおかずを一品以上つくってみる「チャレンジコース」の中から選び、中学生は事前に自分でお弁当の献立を考え、当日お弁当作りに関わる計画でした。

また今年は希望者によるお弁当コンテストを行いました。どのお弁当も力作ぞろいで甲乙つけがたい状況でした。詳しくは次号の「学園だより」でお知らせします。

ご家庭の皆様には朝のお忙しい時間にご協力をいただきありがとうございました。お弁当の写真・感想を稲雲ホールに掲示してありますので、来校の際はご覧ください。



6年生のお弁当



9年生のお弁当



4年生教室のようす



7年生教室のようす

7年男子生徒

朝早く起きてお弁当を作るのは眠くて大変だったので、作ってもらってお弁当は感謝しながら食べようと思った。

8年女子生徒

親が弁当を作る大変さがよく分かりました。1つ作るにも結構時間がかかっていることが分かり、親に感謝したいと思いました。これからはできる限り弁当作りをしてみたいと思います。

9年女子生徒

何を入れれば栄養が偏らないかを考えるのが大変だった。いつもお弁当を作っている人が素晴らしいと思った。

8年男子生徒保護者

今回のお弁当作りは、味付け以外はほとんど自分で作っていました。やり方を教えていただけだったのに、手際の良さにすごくビックリしました！卵焼きの巻き方やお弁当の盛り付けなど、いつも作っているかのように淡々とやっていました。この日は自分だけではなく、家族みんなの分もお願いしました。私も自分で作ったお弁当ではなく、一生懸命作ってもらった温かみのあるお弁当のおかげで、頑張って仕事ができただけでした。おいしかったです!!

9年女子生徒保護者

前日から一緒に買い物をし、アスパラの肉巻きは前日の夜に一緒に作り、当日まで味が染み込むように仕込みました。当日は、おにぎりを一緒に握り、つめてくれました。もうすぐ高校生となり、毎日お弁当になるため、自分からすすんで自分の(出来れば家族の分も...)お弁当を作れるようになったらと思います。でも何より楽しんで料理のできる女性になって欲しいです。



ジュニアボランティア閉講式

11月28日（木）に、稲田公民館の稲田地域ジュニアボランティア養成講座の閉講式が本校で行われました。今年度は13名の生徒がジュニアボランティアとして、地域や市内の行事等でボランティア活動を行いました。その閉講式では、活動報告がなされ、皆勤賞や参加賞などの記念品が稲田公民館長さんから一人一人に贈呈されました。

ジュニアボランティアに参加した生徒は、「地域の方のために役立つ活動ができてよかった」「誰かのためになる活動ができてうれしかった」「来年度もボランティアに参加したい」という感想を述べていました。



公民館長より記念品贈呈



一人一人感想を述べました

愛護育成会作品展に出品しました

先日まで須賀川市牡丹会館で「須賀川市愛護育成会作品展」が行われました。須賀川市内の特別支援学級に在籍している児童生徒の日頃の学習の成果を多くの方々に見ていただくために毎年行われているもので、今年は2日間で243名の方々が来場されて鑑賞していただきました。



本校からもなかよし学級とわかさ学級に在籍しているお子さんたちの作品を出品しました。右の写真をご覧いただいてもお分かりのように、その出来栄はすばらしいものでした。



授業参観・教育講演会・懇談会が12月12日(木)に行われます

- 授業参観 13:25～14:15（小学校は14:10まで）各教室
 - 教育講演会 14:35～15:35 第1体育館
演題 「全力疾走のすゝめ」
講師 川本 和久 氏 福島大学人間発達文化学類教授（福島大学陸上部監督）
 - 入学準備説明会 15:35～15:55（6年生保護者のみ） 第1体育館
 - 学年懇談会 15:45～16:35（中学校のみ開催） 各会場
- ※ 来校の際はスリッパをご持参下さい。
- ※ 駐車場は、本校校庭・岩淵公民館・ヤンマー東脇広場・地域体育館駐車場

今年で3年目になる「MY弁当の日」の取組ですが、今年もたくさん子ども達は何らかの形で、お弁当作りに関わりました。私も高校生の時に3年間、母親にお弁当を作ってもらっていましたが、今でも当時のお弁当の味を覚えています。あまり得意でなかった梅干しが毎日お弁当の中に入っていて、我慢して食べていたら食べられるようになりました。当時は言葉では感謝の気持ちを伝えてはいませんが、本当に感謝しています。今回、子ども達や保護者の方の「MY弁当の日」取組の感想を読んでみて、お弁当作りを通して、親子の絆が深まった様子も伺えてよかったと思います。お弁当はすごい！